

## 株式会社 松屋 2017年2月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-3.6	-5.4
② 銀座店	-3.3	-4.4
③ 浅草店	-8.4	-7.2

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
銀座本店	-2.2	-7.0	-10.9	-10.3	-7.1	-17.5	-13.1	-10.2	-5.2	-4.2	-0.8	-3.6
松屋銀座	-2.1	-7.0	-11.1	-10.7	-7.5	-18.5	-13.5	-10.5	-5.7	-4.2	-0.6	-3.3
松屋浅草	-3.0	-7.2	-8.0	-5.1	-1.6	-4.4	-7.3	-5.2	0.4	-4.2	-3.1	-8.4

## 3. 店舗別商況

銀座店	前年の閏年との対比で営業日数が1日減、また、曜日廻りによる土曜日の減、さらには、中国春節の期間ズレ等によるマイナス影響が重なった営業環境となりました。銀座店は、バレンタイン商戦において、女性客の「自分買い」需要も加勢し、売上高は前年対して1.4倍の伸びを示しました。半期に一度の「春の松美会・感謝祭」では、店内で様々なおもてなしやイベントを開催、単日で8億円を超える売上となりました。婦人部門において、キャリア層を軸に春物のワンピースが好調に推移する一方、一部館内施設の更新等の工事影響と、時計等で引き続き前年のインバウンド需要の反動があり、銀座店の売上高は前年を上回ることは出来ませんでした。
浅草店	化粧品は前年並みの売上推移でしたが、食品部門の生鮮と婦人衣料が弱く、売上高は前年に届きませんでした。

## 4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-9.7	-9.5
婦人服・洋品	-7.2	-7.1
子供服・洋品	0.3	0.3
呉服寝具他	-15.4	-14.4
衣料品計	-7.8	-7.6
身廻り品	-8.2	-8.1
雑貨	2.4	2.4
家具	14.1	16.1
家電	-13.9	-13.9
家庭用品	-5.5	-4.4
家庭用品計	2.9	4.3
食料品	2.1	5.5
食堂・喫茶	-2.7	-2.7
サービス、その他	22.4	29.4
合計	-3.6	-3.3

## 商品別概況(銀座店)

\*婦人服・洋品は、春物のワンピース等に好調な動きがみられるもの、ミセス～シニア層のウェアが苦戦し、売上高は前年を上回ることが出来ませんでした。

\*身廻り品は、サンダル・カジュアルシューズ等、春物商材の一部に動きがあるものの全般的には苦戦し、売上高は前年を上回ることが出来ませんでした。

\*雑貨は、継続して好調な化粧品が牽引し、売上高は前年を上回りました。

\*食料品は、オケージョンを利用した売上向上施策が功奏し、売上高は前年を上回りました。

## (特記事項)

\*一部館内施設の更新等の工事が続いています(4/11まで)。